

平成 24 年 11 月号

[平成 24 年 10 月 25 日発行]

法筵寺だより

— 発行 —

(宗) 日蓮宗 法筵寺

名古屋市南区観音町 8-81

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
不安、恐怖、不信など、又、健康や安泰を願 い、運を向上させたい方は、必ず盛運祈願会 へ参詣ください。自らの“祈り”は通じます。						13:00~ 清掃奉仕日 (奉仕希望者)
4	5	6	7	8	9	10
10:00~12:00 お会式法要 (盛運祈願会) どなたでも参加可	ご先祖様や亡き方にご供養、感謝 するゆえに家族安泰、開運します。				13:00~14:30 月例供養会 どなたでも参加可	18:00~20:30 学習会 「神との対話」 《要予約》
11	12	13	14	15	16	17
開運や技術向上、心願成就を願うなら、大黒天 神、恵比須天神様に、感謝の祈りを捧げましょ う。金運、健康運、仕事運、技UPです。					13:00~ 清掃奉仕日 (奉仕希望者)	18:00~20:30 学習会 「法華経」 《要予約》
18	19	20	21	22	23・勤労感謝の日	24
		13:00~14:30 守護神報恩会 (大黒・恵比須天様) どなたでも参加可				
25	26	27	28	29	30	12/1
						13:00~ 清掃奉仕日 (奉仕希望者)

謹啓 各地から初冠雪の便りが届く季節となりました。いよいよ、本年度の日蓮宗大荒行堂が11月1日より始
まります。檀信徒の皆様には、弟子・海頌(かいじゆ)が入行するにあたり、白衣制作にはじまり、多くの激励やご
芳志を賜りましたこと深謝申し上げます。入行中、又、無事、成満の暁には、何かとご尽力ご協力賜りますよう、
何卒、よろしくお願い申し上げます。

毎月、法筵寺では、第一日曜日に盛運祈願会を開催しています。これは、生きている私たちが、健やかに、
そして家族が安泰に暮らせたことに感謝し、さらなる願いと祈りを捧げる行事です。とかく、お寺というと「死者」に
対しての供養のみと捉えられていますが、仏教、とくに日蓮宗、法華経の教えは、生きている人々がどのように
生きて、幸せに、そして安穩に暮らせるかを説いています。日々、さまざまなことで不安、不信、迷い、苦しみがあ
る方は、ぜひ、ご一緒に解決していきましょう。まずは、勇気を持って盛運祈願会にお越しく下さい。法筵寺の行
事はどなたでも参詣できます。 合掌 法筵寺住職 鈴木海祥

各行事の予約、お申込み、ご質問は、ご遠慮なく法筵寺へお尋ねください。

ご法事・ご回向・ご祈祷・ご相談・ご葬儀 又、外氣功療法等は随時受付けています。

お尋ね、お問い合わせ 日蓮宗 法筵寺(ほうえんじ) TEL052-691-0270 / FAX052-692-5576

〒457-0845 名古屋市南区観音町八丁目 81 メール info.ho@do-o.jp ホームページ http://www.do-o.jp

《第一日曜日は、開運秘訣の“盛運祈願会・せいうんきがんえ”です。是非、お参りください》

～ご案内～

☆11月4日：日蓮大聖人ご入滅お会式法要を営みます。盛運祈願会も併せて行います。

どなたでも参詣できますので、ぜひ、お越しください。

☆11月20日：今月の守護神報恩会は、大黒天・恵比須天神様を中心に営みます。

★12月8～9日開催の「荒行堂面会団参」のご案内を同封しました。参加希望の方は、11月4日より受け付けますので、お早めにお申し込みください。

「ご案内とお願い」(8)

法筵寺弟子・鈴木海頌(すずきかいじゆ)、日蓮宗大荒行堂入行に際し、ご案内をさせていただきます。

《入行見送り》

十月二十九日、名古屋市内から一緒に入行する三名の行僧を見送るために、名古屋修法師会会員の僧侶の方をはじめ、各寺院の檀信徒の皆様と、名古屋駅にて見送りをします。

日時 十月二十九日(月) 午前11時

場所 名古屋駅 新幹線側 太閤通口付近

※新幹線ホームにて見送り後、解散です。(11時40分頃)

《日蓮宗の荒行について・6》 入行に当たり荒行のお話をしています。今回は、荒行堂での修行についてです。

大荒行での修行は、文字の如く荒行ですので、普通では考えられないような修行を連続して行います。もちろん二回目、三回目と行を重ねることに修行内容は異なりますが、初めの三十五日間は、全入行僧、同じ修行をします。特に初行にとつては経験のないことなので想像以上に厳しいものです。壱百日間を通して一日七回の「水行」と「読経」は欠くことはありません。午前二時半に起床、横になれるのは深夜十二時です。水行時間は、午前は三時、六時、九時。正午。午後は三時、六時、十一時の七回。水神明王が勧請されている三間四方の水盤の浄水を、「水行肝文」を唱えて手桶で澡浴します。

水行を終えると、直ちに読経堂に入り読経三昧に入ります。又、荒行堂の生活運営は、すべて行僧が行うので、当番に当たった雑役、炊事、不寝番等の勤役がありますが、日課の読経並に水行等怠ることを許されません。又、食事は一日二回で、薄いお粥と汁のみです。

壱百日間を五期に分けて加行するのですが、第一期は入行日より始まる三十五日間の錬行で「自行の三十五日」といわれ、修行僧にとつて一番大切な時でもあります。睡眠と空腹、読経正座に耐え忍ぶ最も苦しい日々です。(続)

～俱生靈神符について～ (ぐしょうれいじんふ)

法筵寺では、「俱生靈神符」というお守りを、皆さんに着帯(お持ち)して頂いています。神仏や俱生靈神様は常に私たちを守っておられますが、『困った時こそ、神仏から離れるな!』という言葉があります。困難な時や苦しい時こそ俱生靈神様(符)に祈ることで、より守りの強さを頂けます。「まずは、祈ってください。」



このお守りは、毎月新しいお守りと交換します。それは感謝と祈りを忘れないためと、さらなる御守護を頂くためです。ぜひ、**毎月第1日曜日に開催される“盛運祈願会”にご参詣**頂き、ご自身が祈り、新たなお守りと交換して下さい。このお守りは、定期郵送も致しますので、法筵寺へお尋ね下さい。

日蓮聖人は、この俱生靈神という神様は、**自分自身を直接守る神である**と随所に書かれています。家族の安泰を個々にお守り頂けますので、ぜひ、ご家族皆さんで、このお守りをお持ち下さい。

俱生靈神符は、1体500円にて授与させて頂いています。(郵送には、別に送料がかかります)

尚、古い俱生靈神符は、法筵寺へ返納下さい。

お問い合わせは、法筵寺へ052-691-0270

★インターネットで、「お守り/名古屋/病気」等を検索すると、トップで法筵寺が検索されます。インターネットで見たという何組かの方が、直接来寺され、俱生靈神符(お守り)を受けられています。

不安や恐怖、苦しみや悩みの軽減、解決。病気の平癒、改善。交通安全や事故防止。人間関係の改善。運の向上。学習や仕事の向上。その他、さまざまな出来事に対し、あなたをサポートします。